

運営懇談会の開催について

事業所名	ひろばの家・那須2		
所在地	〒329-3225 那須郡那須町大字豊原丙 1340		
担当者名・連絡先	管理者 石井悦子	TEL 0287-74-3258	
従業者数	従業者総数 11人（内訳：常勤 6人、非常勤 4人）（6年 6月 25日現在）		
会議の開催日	令和6年6月25日（令和6年度 第1回）		
会議の出席者	所属（団体等）名	職名	氏名
利用者	—	—	阿部 等
利用者の家族	—	—	片山 宏美
地域住民の代表者	地区 町内会	会長	（欠席）
地域の医療関係者	あしのメディカルクリニック		（欠席）
地域の医療関係者	訪問看護ステーション りんりん		黒田 美知子
地域の医療関係者	訪問看護ステーション りんりん		平山 祐子
市町村関係行政機関	那須町役場 保健福祉課 介護保険係	係長	足助 佳代子
地域包括支援センターの職員	那須地区 <small>地域包括支援センター</small>		山下 里美
知見を有する者等	夕狩地区 民生委員 児童委員		渡邊 昭一
知見を有する者等	那須まちづくり株式会社		近山 恵子
知見を有する者等	ワンランド居宅支援事業所	管理者	白井泡 真理子
知見を有する者等	あい・デイサービス那須	管理者	池沢 麻美
運営会社	ひろばの家・那須2	管理者	石井 悦子
運営会社	ワンランドケア那須	管理者	橋本 将司
運営会社	ワンランド株式会社	代表取締役	橋本 善一
入居者の状況	入居者総数 20人（6年 6月 25日現在）		
	男性	70歳代 1名	80歳代 3名 90歳代 0名
	女性	70歳代 2名	80歳代 6名 90歳代 8名
会議の協議内容 出席者紹介 会議の内容 事業の内容 ① サービス提供状況 ② 管理費、食費等の収支報告	<p>法人代表橋本善一のあいさつから議題に入った。</p> <p>まず、出席者全員から自己紹介となった。その後、司会進行の法人代表から運営懇談会の意味や義務付けられている点などの説明があった。会議の内容として、それぞれの立場で意見を伺いたい旨の報告があった。意見交換の題材資料も説明された。サービス付き高齢者向け住宅とは、どのような制度なのかなどが説明された。厚労省の発出している資料の、高齢者向け住まいでのポイントや、全国のサ高住登録状況などが説明された。令和4年2月末で、274,704戸と報告された。棟数は、8063棟であった。</p> <p>また、サ高住運営会社は、情報公表が義務付けられているので、ワンランドもホームページに今年度公表する旨が報告された。</p> <p>続けて、自立支援の視点として、社内に発信している考え方を資料を元に発表された。</p> <p>当該事業所のサービス提供状況と事例が管理者から報告され、意見交換となった。</p> <p>包括支援センターからは、サービスの内容について質問があった。</p> <p>地域の医療関係者からは、以前に、誤薬の事例があったので、何らかの事故防止対策を強化すべきだろうとの意見があった。また、利用者に対しての介護サービス以外の事ではあるだろうが、外出支援などは自立支援に結び付くのではないかと意見もあった。</p> <p>健康教室などはいいのではないかとあった。</p> <p>知見を有するひとからは、地域のボランティアの方々にも協力してもらっている旨が報告された。</p>		

	<p>この地は、色々な事業があり働く人も多く、みんなで協力し合って生活している旨も付け加えられた。</p> <p>利用者代表からは、職員さんに良くしてもらって、何の不満もない。家族からは、先ほど意見があった、散歩などはありがたいとの意見もあった。本人も体調が良いときは自分で歩いているようだと言った。</p> <p>デイサービス職員からは、レクレーションの中で、たびたび、外出散歩は行っている旨の報告もあった。</p> <p>知見を有する人からは、先ほどの誤薬の話があったが、常に危険はつきものなので日常的に事故防止の研修は必要だろうとあった。より安全に、もっと安全に、が必要だろうと述べられた。</p> <p>行政機関からは、那須町の被保険者はどの程度いるのか質問され、県外からの住所地特例で住んでいる方が多いと説明された。</p> <p>事業主からは、今年の10月15日防災訓練を、法人全事業所で行う旨が報告され、地域の医療関係者も合同参加の意見もあった。</p> <p>知見を有する方からは、井戸水の活用やバイオトイレなどの説明がされた。</p>
苦情の状況	<p>(直近約3か月又は前回報告以降)</p> <p>特になかった。</p>
事故の状況	<p>(直近約3か月又は前回報告以降)</p> <p>特になかった。</p>
その他の報告事項 評価、要望・助言等	<p>法人代表から、全国的に、空家が問題になっているので、我々高齢者事業者関係者が本気になって空家対策を進めることが大事なのではないかと問題提起された。</p> <p>全国に800万戸が空家、那須町だけでも11690戸空き家がある。</p> <p>我々が常に、空家活用を発信していけば、住まいで困っている人の支援になるのではないかとあった。不動産会社が空家の持ち主に活用を持ち換えても、中々進まないのが、現状のようだ。</p> <p>全国の有料老人ホームの管理費や食費が値上げになっているので、空家を活用していけば、これもまたいいのではないとなった。</p> <p>最後に、健康保険証が今年12月2日から発行されなくなる資料の説明があった。</p>

運営懇談会の協議内容議事録

施設名 ひろばの家・那須2

開催年月日	令和5年7月12日（13:30～15:00）
施設側出席者	白岩真理子 ワンランド西郷居宅（管理者） 池沢麻美 あいディサービス（管理者） 石井悦子 県南地区統括部長 萩沢万里子 ひろばの家那須2 介護職員 長倉秀子 ひろばの家那須2 介護職員 橋本善一 ワンランド（株） 代表取締役 橋本カツ子 ひろばの家那須2 ハウス長
入居者側出席者	佐藤光子 入居者 高田光子 入居者 伊藤美穂 入居者家族 林田明子 入居者家族（欠席） 大森崇 逃室1自治会長 渡邊昭一 民生委員（欠席） 櫛引順子 那須まちづくり広場 黒田美知子 りんりん訪問看護（欠席）
議題	1. 施設概要 2. 職員体制 3. 職員紹介 4. 入居者状況報告 5. 今年度活動状況報告 6. 生活相談への対応・ヒヤリハット報告 7. 収支報告
協議内容	1. 運営懇談会開催の目的 2. 入居者状況説明
	1. ひろばの家・那須2の運営懇談会の開催目的について、代表橋本から説明があり懇談会開始となった。 コロナ感染状況が続いていた事で、昨年1月に開所して以来懇談会が開催出来なかったが、コロナ感染が第5類になった事で第1回目の懇談会が、今日設けられる事となったと話があった。次に代表橋本の進行で職員の紹介がされ、続いて懇談会出席者を順に紹介、各人から自己紹介を受け、本日出席出来なかった構成員の名前の紹介もされた。 口頭説明で年1回の開催とあったが、正しくは、2回開催である。
	2. 橋本ハウス長より、現在部屋数26戸のうち21名の入居者が生活している事、その入居者の方々の性別や年齢、介護度、入居期間など配布資料を基に説明がされた。

<p>活動報告</p> <p>事例紹介</p>	<p>・R5年5月26日に避難訓練を行い、入居者様達が非難の声掛けでロビー中央に集まる事が出来た。『何かあったらこの場所に集まりましょう』と入居者に伝え皆で確認が出来たことは有意義だった。今後万が一の時、少ない職員体制で動きの緩慢な方たちの誘導を、スムーズに行えるようにする為にはといった課題も見えた。まちづくり広場の防災班からの避難協力が得られるとの話したが、体制はまだ完備されていないとの話もあった。</p> <p>・入居者の事例紹介として、ひろばの家に入居する事になった経緯や現在の様子が配布資料を基に説明がされた。入居時は身の回りのことは出来ていたが、脳梗塞発症によりベッド上での生活になってしまった。医療と介護の絶え間ない連携で本人の生活全般の支援をしている内容の説明がされた。</p>
<p>ひやりハット報告</p> <p>生活相談実施報告</p> <p>3.地域における住まい・介護・医療の課題とし</p> <p>対応</p> <p>その他</p>	<p>事例内容の説明で、緊急時の早期発見・早期対応・各機関との迅速な連携での支援を行った事で重大な事故に至らなかったとの報告があった。職員のヒヤリハット記録の共有で今後の注意点や改善策が見える事があると代表橋本の補足があった。</p> <p>・実施内容の資料の一例の説明がされた。入居者が毎日の生活を送る上でちょっと困った事等相談事は毎日絶えないが、適宜に対応し記録に残しているとの話がされた。</p> <p>3-1 出席者全員に3年間の新型コロナ感染症で、何が【一番大変】だったかの話を聞き、皆が共感できる内容の話が聞けた。コロナ感染の3年で生活スタイルや考え方が変わった事の話も出た。介護職員から自分が感染して利用者に移さない・家庭に感染を持ち込まないといった意識の毎日だったので、精神的に疲れていたとの話が出た。</p> <p>3-2 本日の参加者(入居者)の中にコロナ感染した方が居り、『自分が通院した後感染してひろばの皆に移してしまった。申し訳ない気持ちだった。隔離解除後にひろばがクラスターになっていた事を初めて知った。隔離中は職員から精神的な面での支援を受けられた事が良かった』との話があった。出席者から感染後は精神的なサポートも大切な事だ、感染から身を守る為の予防はコロナ感染が第5類になっても継続が必要な事だと話し合いに皆が同意していた。</p> <p>3-3 代表橋本から会社として感染症対策などが義務付けられているのでBPC作成を行っている事の説明があった</p> <p>3-4 入居者家族から医療と介護の連携内容・情報を知りたいとの要望があった。入居者に限らず家族にも要望に応じて、情報の提供をして行く事を橋本ハウス長から話があった。最後に、代表橋本から今後年に一回の運営懇談会を開催していくので、次回も地域の方の参加、ご</p>

	意見を頂きたいとの依頼をして懇談会終了となった。
--	--------------------------

(注1) 開催日ごとに別葉とすること。

(注2) 「協議内容」及び「対応その他」欄は、報告、質疑、要望等とその対応について具体的に記載すること。